

囲碁大会運営実務の基本的な考え方

[要旨]

- ・ 全国大会など上位大会への代表選出枠に応じて、組合せ方法を選択する
- ・ ニーズに応じてスケジュールを立て、大会関係者で役割を分担する

[詳細]

1. 組合せ方法

全国大会など上位大会への代表選出を念頭に、時間の裕度を勘案して選択する。

	メリット	デメリット
トーナメント戦	・ 順位付けが明確	・ 組合せ運に結果が左右される ・ シードの設定が難しい ・ 敗退者の対局意欲が減退する
リーグ戦	・ くじ運に左右されない	・ 時間がかかる (参加者数が多い場合や、同順位者が発生して順位決定戦を行う場合には、開催時間が長くなる)
スイス方式※	・ 限られた時間で大会が終わる ・ 順位付けが明確	・ スイス方式を体験したことがない者やマスコミ関係者には、なじみが薄い ・ 最終戦で全勝対決に敗れたものが2位にならないこともあり得るため、納得感の薄い結果になる可能性がある

※リーグ戦は大会参加者が多いと時間内に実施できないため、トーナメント戦に敗者復活戦の要素を取り入れた対戦形式。囲碁、将棋、チェスなどの大会で採用されることがある。

2. スケジュールの立て方

囲碁を日常的に鍛錬しているものに加えて、初心者が参加する大会では、意識や技量の向上につながる事ができるスケジュールを立てるように心がける。

(1) 代表選出

- ・ 参加者数、代表選出に必要な順位付けができる対局回数を決める
- ・ 持ち時間は45分/人（1局で90分）が基本だが、対局回数に応じて持ち時間を調整する

(2) クラス別戦、段級位認定戦

- ・ 棋力向上が主目的であることが多いため、対局回数をなるべく多くする

(3) 指導碁

- ・ 指導碁（プロ棋士、アマ高段者）の組み入れを念頭においてスケジュールを作成する

3. 役割分担

大会の規模に応じて大会関係者に役割分担する。

〈主な役割〉

(1) 大会前

- ・ 大会案内を発送する（上位大会がある場合はその要項を踏まえて案内を作成する）
- ・ 大会の1～2週間前を申込締切日目途とし、2週間前からを目安に弁当の手配、申込内容変更、会場設営手配などに対応する

(2) 大会当日

- ・ 会場設営、大会審判、進行、記録係、表彰係、弁当配布などの役割を関係者で分担する
- ・ 賞状、段級位認定書を授与する

(3) 大会後

- ・ 上位大会への代表権獲得者への案内送付などのフォローをする